

# 教育ながの

—長野県教育委員会メールマガジン—

第 599 号  
平成 24 年 10 月 19 日

1. **ひみつ**  
集団登山
2. **特集**  
今後のいじめ対策について  
「教育に関するアンケート調査」結果概要／保護者意識調査／  
教育総務課
3. **今、学校では**  
確かに思いを「とばこ」のせて  
～出張手話講座「レモンデイズ」の活動～  
長野県長野ろう学校
4. **こ存知ですか**
5. **イベント情報・お知らせ**  
文化財・生涯学習課  
県宝って何…？
6. **あとがき**

心の支援室長 澤井 淳

## 集団登山

心の支援室長

澤井 淳

## 長

野県の学校行事で特徴的なものに中学校での集団登山があります。先日教育委員会の定例会で、長野県山岳総合センターからお話がありました。山岳部の顧問をしていたときに何回かセンターの研修会に参加した経験があり、興味深くお聞きしました。その中で高校の山岳部の活動が盛んになってきていると聞きとてもうれしく思いました。私は山登りの専門家ではありませんが、中学時代の集団登山がとてもよい思い出となり、後々山岳部の顧問をすることにつながりました。

## 平

成22年度の長野県山岳総合センターの「長野県中学校集団登山動向調査」によると、集団登山をする中学校は9割で、その割合は数年来変わっていません。ただし、目的とする山は中央アルプスの西駒ヶ岳や北アルプスの燕岳が減少し、唐松岳や硫黄岳周辺が増えています。生徒の実態に合わせた選択であったり、アプローチの楽な山であつたりと状況に応じて変化してきているようです。そうであつても危険が伴う集団登山が継続されるのは、豊かな自然を満喫し、危険な箇所では仲間と声を掛け合つたり助け合つたりできるという、長野県だからこそできることに対する教師や地域の強い思いがあるのだと思います。

我々のときには中学1年生で、事前準備として霧が峰の鷲ヶ峰に登り強清水まで歩きキヤンブするという行事があり、先生方の準備も大変だつたろうと思います。この霧が峰の事前準備と西駒ヶ岳登山の際の学年主任のK先生はたいへんな山好きで、道々いろいろ興味深い山の話を聞いていただきました。教師の一言は生徒に大きな影響を与えるといいます、その後引率を含め20回近く西駒ヶ岳に登り、自分だけしか知らないクロユリの群生地などたいへん山を楽しむことができました。

## 最

近では、医師や看護師、ガイド・案内人が同行するケースが9割あり、安全に配慮されていることがうかがわれます。初めて高山に登り、下山して地元の山を振り返って見たとき、今までとは違う親近感を感じるとともに、自分のふるさとの素晴らしさをしみじみと感じました。配慮しなければならないことは多いですが、これからも安全対策を十分行って、子ども達に素晴らしい経験をしてほしいと思います。



# 特集

## 今後のいじめ対策について

### 心の支援室

## 長

野県は「いじめ根絶」に向けた緊急対応策として、**知事と教育委員長による共同メッセージ**の発信、**公立学校の訪問、緊急電話相談等**に取り組んで参りました。

## 教

育委員会では8月からの仄にかけて、公立小中学校、高等学校、特別支援学校への訪問を実施しました。そこでは、いじめ解消に向けた児童会・生徒会の「いじめ撲滅宣言」や「人権宣言」等の主体的な取組や、各学校の日常的な取組について、校長先生や担当の先生方、同席していただいた市町村教育委員会の担当者から聞かせていただきました。

今後は、聞かせていただいた各学校の取組をもとに、参考にして取り組んでいただきたい事例や「**いじめ対応マニュアル**」充実のための資料を作成し、県下の学校へ発信して参ります。

## ま

た、9月18日には、いじめ対策をより効果的に進めるために、庁内におけるいじめ対策の情報交換や意見交換を行い、今後の施策に反映するために連絡会議を開催しました。

当会議に参加したのは、県警本部少年課、次世代サポート課、「じども・家庭課、情報公開・私学課と教学指導課心の支援室です。

先日の第1回会議では、

- ◆ いじめ解決に向けて困難を感じる事案
  - ◆ いじめ対応マニュアル
  - ◆ 警察への相談
  - ◆ いじめ相談窓口
- 等についての意見交換が行われました。

## 一

れまでも、教育委員会と他部局は、青少年健全育成の県民運動を推進する連携や少年非行に関する学校警察連絡制度、虐待・家庭支援などをめぐる学校と児童相談所の連携等、様々な連携を行つてきましたが、いじめ対策に取り組む上では、このような従来からの取組を活かしつつ、さらに強化することが重要であるとともに、今までの連携のスタイルにこだわらない新しい発想も必要になつてきます。今後は、作業部会も開いて、具体的な取組を検討し、いじめ対策を進めて参ります。

- ◆ “いじめを見逃さない長野県”を田指す共同メッセージ

[http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/support/no\\_ijime/no\\_ijime.htm](http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/support/no_ijime/no_ijime.htm)

- ◆ 長野県における「いじめ根絶」に向けた緊急対応策について

[http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/support/no\\_ijime/ijimetaisaku.pdf](http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/support/no_ijime/ijimetaisaku.pdf)

■お問い合わせ  
教学指導課心の支援室  
生徒指導係  
TEL : 026-235-7436  
FAX : 026-235-7495  
e-mail :  
kokoro@pref.nagano.lg.jp

目次  
戻る

mini

# 特集

## 「教育に関するアンケート調査」結果概要

～保護者意識調査～ 教育総務課

育に関するアンケート調査」特集最終号です。今月は『保護者意識調査』に注目します。また、『教員意識調査』との比較から、保護者と教員の考え方の違いも取り上げます。

◆ まず、保護者は学校との関係性についてどのように感じているのだらう?

◆ 図のように、**学校段階が上がるにつれて、学校と地域・保護者との交流が減少している**ことが分かります。また、「学校の先生や学校を信頼しているか」との質問に対しても、「非常にあてはまる」と「かなりあてはまる」とする保護者の割合が、小・中・高全ての学校段階で5割を超えていました。

◆ 教員に求める授業イメージは「どうもの?」

◆ 保護者が最も求めている授業イメージは小・中・高全ての学校段階で「授業内容が分からぬ子供を取り残さない、一人ひとりの存在感を大事にしてくれる授業」となりました。しかし、課題解決型の授業や基礎基本を身につける授業を求める声も多く、**多様な授業イメージ**が求められる状況となっています。

◆ 授業以外で教員がやるべきことについて、教員と保護者の意識にはどう違うのでしょうか?

◆ 保護者と教員では「**集団生活を通じて他人への思いやりの心を育てる**」と、教員がやるべきとする回答が多くなっている点が共通しています。しかし、「進路指導」や「学校の教育方針や学級における子どもとの様子、学校行事の予定などの情報提供」について、保護者は教員の回答よりもやるべきとする割合が高い傾向にあります。

◆ 詳しい結果は<http://www.pref.nagano.lg.jp/kenkyo/tireikai/940/940-2-2.pdf>

◆ 第2次教育振興基本計画について

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/>

◆ 「食習慣に関する指導」や「地域行事への参加」は「教員があまりやらないでもよい」と考えていることが分かりました。しかし、「キャリア教育」については、教員はあまり「教員以外が主に担うべき」とは考えていませんが、保護者では「教員があまりやらなくてもよい」とする回答が多くなっています。

◆ 学校教育等で身につける必要性が高い能力や態度についてはどうだらう?

◆ 教員、保護者に共通して、学校教育の中で身につける必要性の高い能力・態度として、「**教科の基礎的な学力**」「**自ら学ぼうとする意欲**」「**人間関係を築く力**」が挙げられています。一方、「**受験に役立つ学力**」は保護者からの必要性の割合が高く、教員との差が大きくなりました。

■お問い合わせ  
教育総務課 企画係  
TEL : 026-235-7423  
FAX : 026-235-7487  
e-mail :  
kyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp



## 確かに思いをことばにのせて 「出張手話講座「レモンデイズ」の活動」

長野県長野ろう学校



グループに分かれて、手話練習をしています。

当日は、「聞こえたちは一人一人違う」ということ、「聞こえにくくて困ったこと」「周囲の人との関わりから感じた感謝の思い」「伝え合い、わかり合える喜び」について、参加者とやりとりしながら発表しました。次に、グループに分かれてゲームやクイズ形式の手話練習を行い、互いに交流を深めました。

1学期、小学校を訪問することになりました。まず生徒達は、小学生や保護者に伝えたい思いを意見を出し合ってまとめ、準備をしました。

この取り組みは、8年前に始まりました。生徒会では、「自分たちの伝えたい思いとは何か」「どんなことばで、どんな方法で伝えることができるのか」等、活動を振り返りながら話し合いを重ねて進めてきました。その結果、何年も継続して依頼してくださる学校や、保護者の方々も一緒に参加してくださいる学校、学校以外の団体からも依頼をされるなど、活動の良さが認められ、徐々に広がっています。

### ◆活動の様子

### こまったこと

・駅で、「電車はしばらく来ません」という放送がきこえず、電車をずっと待っていた。

・後ろで車の音がしたが、わからなくて、あぶないことがあった。

・3人以上の友だちと話すと、今、だれが話しているかわからなくて、なにをいっているかわらなくなつた。

**うれしかったこともたくさんあります**

- ・手話で話したり、ほちょうきをしていたりしても、  
じろじろ見ないで、しぜんにしていてくれた。
- ・手話がわからなくても、紙に書いたり、大きな声でゆっくりしゃべったりして、はなそうしてくれた。
- ・今まで手話を知らなかった人が、自分と会ったことがきっかけで、  
すこしでも手話をおぼえてはなしかけてくれた。（「ありがとうなど」）
- ・手話をつかうテレビがふえた。（ドラマや歌のふりなど）

レ

モンディズの活動内容の中心は手話講座です。しかし、この活動を通して一番感じ欲しいことは、理解し合いたいという気持ちがあれば、手話や指文字が分からなくても理解し合えるということです。

生徒達は実際にこの活動を通して、聴覚の障がいのことについて、自分の言葉や自分に合ったコミュニケーション方法で伝えることを学んでいます。目の前に伝えたい相手がいて、伝えたい確かな思いをもつことが大きな力になっています。そして、「伝えられた」「わかった」「話ができる嬉しかった」という喜びを味わい、さらなる自信につながっています。

また、参加していただいた方からは、「講座の後、家族にも手話を教えてあげた」「聴覚障がいのある人と話すことは難しそうだと思っていましたけれど、いろんな方法でわり合えたことが嬉しかった」等の温かな感想も寄せられ、生徒達の大きな支えになっています。

今後も、多くの方との関わりの中で、自分に合ったコミュニケーション方法を学びながら、思いを伝え合う楽しさを感じられる活動にしていければと思っています。



ホワイトボードを使っての筆談も、コミュニケーションのひとつとして使われています。

#### ■お問い合わせ

長野県長野ろう学校  
〒380-0803  
長野市三輪 1-4-9  
TEL : 026-241-5320  
FAX : 026-244-9217

# ご存知ですか？

～「県宝」って何！？～

皆

さんは、長野県にはいくつ県宝があるかご存知ですか？

長野県には県宝が平成22年度210件、平成23年度は217件、本年

度10月1日現在では219件あります。

今回はその県宝とは何かということ、そして県宝等について私たちがどう保存し活用するのかについてご説明します。

## ◆『県宝』とは？

県宝は文化財のひとつに入ります。文化財は、我が国の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今まで守り伝えられてきた貴重な国民の財産です。社寺や民家などの建造物、仏像、絵画、書画、そのほか芸能や工芸技術のような「技(わざ)」、伝統的行事や祭り、あるいは長い歴史を経て今に残る自然の景観、歴史的な集落、町並みなども文化財に含まれます。

文化財には国のか都道府県、市町村が指定したものがあります。国は文化財の中でも重要なものを重要文化財等に指定・登録し、重点的に保護しています。**都道府県**では、**より身近な文化財を保護するために、文化財保護法に基づき条例を制定し、地域の文化財を指定**しています。そして、これらの文化財の管理・修理公開等に要する経費について補助を行い、地域の文化財の保存と活用を図っています。

県文化財保護条例では、県宝は文化財で、県の区域内に存するもののうち重要なもので、保存及び活用のため必要な措置をします。

その目的は県民の文化的向上に資することもに、我が国文化の進歩に貢献すること、と書いてあります。



9月20日 県報告示された県宝

「村松の宝篋(きょう)印塔」(小県郡青木村)

次

に、県宝等の文化財を活かした地域の文化財保護の取組についてみてみましょう。

## ◆埋蔵文化財の保存と活用

長野県埋蔵文化財センターでは、「夏休み考古学チャレンジ教室」「埋蔵文化財の現地説明会」を、長野県立歴史館では「考古学講座」「考古学の企画展」などを実施しました。発掘調査で出土した県宝の土器・石器の公開やレプリカ造りを通して、埋蔵文化財を活かした地域づくり、ひとつづくりにも取り組んでいます。

## ◆文化遺産を活かした

### 観光振興・地域活性化

県宝の上田城では、平成24年「史跡上田城跡保存管理計画及び史跡上田城跡整備計画」を策定し、整備計画がはじまりました。史跡の復元・公開を進めることで、文化振興とともに観光振興・地域経済の活性化を推進しています。県内にはこの例が多くなっています。

## ◆文化財の総合的な

### 保存・活用とまちづくり

長野市松代町には、県宝の刀や文書などを収蔵している真田宝物館や県宝の建造物などがあり、「歴史的風致地区向上計画」を策定して、文化財の総合的な保護や魅力あるまちづくりを進めています。

## ◆担当審議委員が調査

◇8月21日 同審議会で審議、教育委員会に県宝指定するよう答申

◇9月13日 教育委員会定例会で県宝指

定が決定



◇県宝となる（9月20日付け）

これからも県民の貴重な財産でもある文化財の適切な保存と活用を推進し、後世に残すことができるよう努めてまいります。

◆文化財に親しもう～11月1日から7日

は「文化財保護強調週間」です

◆教育委員会定例会のページへ  
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kenkyoi/tireikai/itiran24.htm>

本年度は9月20日に2件が、県宝として指定され県報告示されました。

写真にある小県郡青木村の「**村松の宝篋(きょう)印塔**」と、木曽郡南木曽町の「**園原家住宅**」です。

告示されるまでには左記のような手順を経ています。

◇2月14日 長野県教育委員会から長野県文化財保護審議会に、県宝指定について諮問

## ■お問い合わせ

文化財・生涯学習課 文化財係

TEL : 026-235-7441

FAX : 026-235-7493

e-mail :

bunsho@pref.nagano.lg.jp

目次  
戻る

# イベント情報・お知らせ

研修講座のご案内

◆長野県生涯学習推進センター

タイトル	講義・実習	講師	会場
「若者の力が地域を支える」	解と支援」	家庭・児童・発達障害の理	生涯学習月間記念講座「地域づくりのため今何をするか」
12月6日(木) 9:40~16:00	11月27日(火) 13:00~16:00	天体観測講座「冬の星空を見よう！」	11月19日(月)~22日(木)のうちの1日 18:00~20:00
「事例交換表	「発達障害の理解と支援」	星鏡による星空観察	「動き出そう、今！明日の地
総合経営学部 白戸洋松本教授	総合教育センター生徒指導・専門主事	総合教育セントラル教科教育サポーター	吉田博彦NPO法人教育支援協会代表
	託児可		



◆県体育センター（10月20日～11月20日開催分）どなたでも開催日の前日まで受講申し込みができます。

込みができます。

◆上半期4月～9月（9月30日現在）までの研修講座の受講率

4 7	講座中 3 6	講座実施 (定員 1, 2 2 5 名)
受講者数 1, 7 2 7 名	受講率 1 4 1 %	

(1) 学校体育・スポーツ研修講座

(三) 標榜教育不外以研修論座為主，35名受獎

30講座 定員985名 受講者数1430名 受講率145%

## (2) 生涯ノホリ「研修講座」

6講座 定員240名 受講者数297名 受講率124%

◆研修講座のお問い合わせ先

長野県生涯学習推進センターでの研修講座

■お問い合わせ

長野県生涯学習推進センター

〒399-0711

長野県塩尻市片丘南唐沢 6342-4

Tel : 0263-53-8822

Fax : 0263-53-8825

e-mail : shogaigakushu@pref. nagano. lg. jp

長野県体育センターでの研修講座

11月の「一般体力測定」

■お問い合わせ

長野県体育センター

〒390-1131 長野県松本市大字今井 3443

TEL: 0263-86-0218 FAX: 0263-86-0204

ホームページ :

<http://www.pref.nagano.lg.jp/xkyouiku/tai/ce/index.htm>



## イベント・募集

### ◆11月の「一般体力測定」実施について

日頃の運動不足解消に、体力測定は如何でしょうか？無料で体力測定を受けられます。ふるって御参加ください。11月の測定実施日は1日（木）、14日（水）、28日（水）となつております。なお、事前に申し込みが必要になります。お問い合わせ先は[\[J\]かづ](#)

### ◆文化財に親しもう～11月1日から7日は「文化財保護強調週間」です～

昭和29年11月3日（文化の日）に、火災に遭った法隆寺金堂の修復工事が6年近い年月を要して竣工しました。これを記念し、その前後の1週間（11月1日から7日）は「**文化財保護強調週間**」と定められました。

この期間中には、都道府県や市町村の教育委員会を中心にして、「文化財に親しむ」と目的とした様々な行事が開催されます。また、文化庁では、全国の行事をホームページで掲載します。

長野県内でも、期間中、重要文化財では、軽井沢町の旧三笠ホテルや岡谷市の旧林家住宅の無料公開、他にも展示会などの行事が、12市5町6村で開催される予定です。

長野県内には、国・県・市町村により、文化財が数多く指定されています。これらの文化財は、地域の長い歴史の中で、生まれ、育まれ、そして今日まで守り伝えられてきた貴重なかけがいのない私達の財産です。「文化財保護強調週間」に限らず、長野県内の文化財を「見学され、また、直接地域の行事に」ご参加いただき、これまでと違った視点から、長野県の良さを感じていただけます。

※ 各地域における行事については、**文化庁ホームページ**から見るところができます。  
文化庁ホームページ  
<http://www.bunka.go.jp/bunkazai/aigo/hogoweek.html>

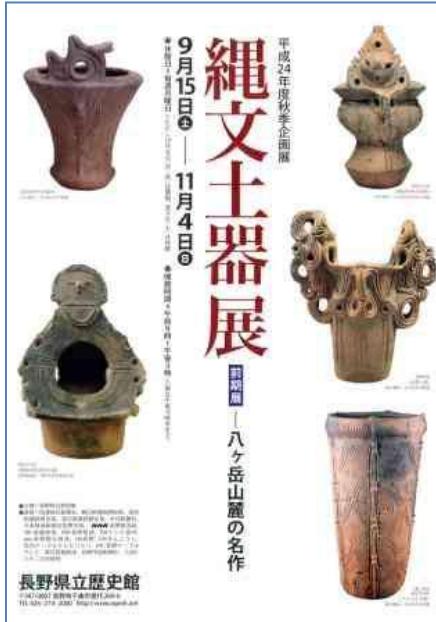
### ■お問い合わせ

文化財・生涯学習課 文化財係  
TEL : 026-235-7441  
FAX : 026-235-7493  
e-mail :  
[bunsho@pref.nagano.lg.jp](mailto:bunsho@pref.nagano.lg.jp)

## ◆長野県立歴史館 秋季企画展 縄文土器展

縄文時代の長野県は、八ヶ岳山麓や千曲川流域などに地域色の強い文化が繁栄しました。八ヶ岳山麓では、約5千年前の縄文時代中期に「縄文王国」といわれるほど多くの集落が當まれ、造形的に素晴らしい土器が作られました。

今回の企画展は、前期・後期と展示替えを行います。前期展示では八ヶ岳山麓の美しく力強い縄文土器を紹介し、後期展では千曲川流域のダイナミックかつ多様に変化する縄文土器の歴史を紹介します。また、前期展は松本市立博物館へ巡回します。



(常設展観覧料 共通)	観覧料	休館日	開館時間	開催期間	場所
◇◇◇ 小高大人 ・・ ※中大学 生学生 ～125 は250 2000 0円円円 名～～～ 以124 上000 の000 団円円円 体～～～	無料	毎週月曜日、祝日の翌日 (11月4日は開館)	午前9時から午後5時まで (入館は午後4時30分まで)	◆前期 9月15日(土) ◆後期 11月10日(土) 12月16日(日)	長野県立歴史館

※次の方は無料です。

- ◇平日、学校の教育活動として観覧する県内の小・中・高生
- ◇身体障害者手帳などの交付を受けている方とその介護者
- ◇土・日曜、祝日及び振替休日に観覧する小・中・高・特別支援学校生



◇講座

講師	演題	開催日時	講師	演題	開催日時	講師	演題	開催日時	講師	演題	開催日時
長野県立歴史館 専門主事 水沢教子	縄文土器の爛熟と展開	12月8日（土）午後1時30分～	長野県教育委員会文化財・生涯学習課 指導主事 寺内隆夫	豪華絢爛な土器、その成立の謎	12月1日（土）午後1時30分～	長野県立歴史館 専門主事 贊田明	尖底土器から平底へ	11月24日（土）午後1時30分～	長野県埋蔵文化財センター主任研究員 広瀬昭弘	縄文土器のはじまり	11月10日（土）午後1時30分～

◇松本市立博物館連携企画展「縄文の美と力」

開催期間 11月17日（土）～1月6日（日）

■お問い合わせ

県立歴史館 総合情報課

〒387-0007 千曲市屋代260-6

TEL : 026-274-2000 FAX : 026-274-3996

e-mail : rekishikan@pref.nagano.lg.jp

ホームページ <http://www.npmh.net/>

## ◆千曲市森将軍塚まつり 長野県立歴史館 無料開放

千曲市・科野の里歴史公園の最大のイベント「森将軍塚まつり」が11月3日に開催されます。屋代駅から森将軍塚までのパレードから始まり、古墳頂上では収穫感謝の儀式も行われます。古墳眼下の広場では数多くの出店が立ち並び、将軍塚鍋やキビ餅のサービスもあります。当曰は長野県立歴史館の展示が入場無料になるほか、勾玉づくり体験教室や普段は公開していないバックヤード見学（職員の解説つき）を行いますので、この機会にぜひお越しください。

### ◇森将軍塚まつり 県立歴史館の催し物

- ・秋季企画展「縄文展」、常設展の観覧無料
- ・勾玉づくり体験教室（受付午前10時～午後3時・材料費1個100円）
- ・親子映画会（午後1時～3時）
- ・バックヤード見学（午前の部 10時～11時・午後の部 1時～2時 先着各20名）

開館時間	開催日	場所
午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで） 将軍塚まつりはおおむね午後3時まで	11月3日（土・祝）文化の日	長野県立歴史館

### ■お問い合わせ

県立歴史館 総合情報課

〒387-0007 千曲市屋代 260-6

TEL : 026-274-2000 FAX : 026-274-3996

e-mail : [rekishikan@pref.nagano.lg.jp](mailto:rekishikan@pref.nagano.lg.jp)  
ホームページ <http://www.npmh.net/>



## あとがき

メールマガジン11月号をお送りします。  
今年も暑かった夏が終わり、秋がやってきましたね！朝、布団から出るのが難しい時期の到来です。

皆さん、朝ごはんはしっかり食べていますか？朝、布団でゆっくりしてしまうと、必然的に出発までの時間が短くなってしまうわけで、朝食を食べる時間がない！なんて方もいらっしゃるのではないかでしょうか。そんな方にオススメなのが、朝ごはんに自分の好きなものを用意しておく、という手法です！私も早起きが苦手なのですが、朝起きたときに自分の好きなものを食べれると思うと、自然と体も動き出すというわけです。

食欲の秋も來ましたことですし、旬の食材を存分に楽しみ、早寝早起き朝ごはんを実践して健康的な生活を送りましょう！

文部科学省「早寝早起き朝ごはん」国民運動の推進について

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/asa\\_gohan/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/asa_gohan/index.htm)

- ◆平成25年度長野県特別支援学校 寄宿舎指導員採用選考 問題及び解答例を掲載しました
- ◆平成25年度長野県盲学校 理療科教員採用選考の結果等を掲載しました
- ◆平成25年度公立学校教員採用選考 二次選考合格者を掲載しました
- ◆第948回長野県教育委員会定例会を開催しました
- ◆第949回長野県教育委員会定例会を開催しました

授業開始	募集期間
平成25年4月1日（月）	平成24年12月1日（土）～平成25年2月28日（木）
	インターネット出願
	平成24年1月15日（木）
	平成25年2月28日（木）

◆放送大学で学んでみませんか！平成25年4月入学生募集  
放送大学では、平成25年度第1学期（4月入学）の学生を募集しています。  
放送大学は、テレビ・ラジオなどの放送を利用して学習する通信制の大学で、放送大学の科目を利用して「教員免許状」の取得が可能です。  
また、教育における最新情報や専門分野等のリカレント教育に資する科目も数多く開設しています。  
詳しい資料をお送りいたします。お気軽に問い合わせください。

■お問い合わせ  
放送大学長野学習センター  
〒392-0004 諏訪市諏訪 1-6-1  
スワプラザビル4階  
TEL : 0266-58-2332  
(月曜日・祝日休み)  
ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>